



2021年10月27日

各 位

会 社 名 株式会社農業総合研究所  
代表者名 代表取締役社長 堀内 寛  
(コード番号：3541 東証マザーズ)  
問合せ先 取締役 CFO 坂本 大輔  
(TEL. 03-6417-1047)

**(訂正・数値データ修正)「2021年8月期決算短信〔日本基準〕(非連結)」の一部訂正について**

当社は、2021年10月14日に開示いたしました「2021年8月期 決算短信〔日本基準〕(非連結)」の記載内容および数値データに一部誤りがありましたので、下記のとおり訂正いたします。

1. 訂正の理由

2021年10月14日に「2021年8月期決算短信〔日本基準〕(非連結)」を開示いたしましたが、その後、会計監査人から繰延税金資産における会計処理について指摘があり、協議を重ねた結果、指摘どおりに意見を収束するに至りました。また、キャッシュ・フローの概況において記載誤りがあることが判明したため、該当部分の訂正をするものであります。

2. 訂正箇所

訂正箇所は\_\_\_\_\_線を付して表示しております。なお、訂正箇所が多数に及ぶことから訂正事項については、訂正後のみ全文を記載しております。

以 上

(訂正後)



## 2021年8月期 決算短信〔日本基準〕(非連結)

2021年10月14日

上場会社名 株式会社農業総合研究所 上場取引所 東  
 コード番号 3541 URL <https://www.nousouken.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 堀内 寛  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 CFO (氏名) 坂本 大輔 TEL 03-6417-1047  
 定時株主総会開催予定日 2021年11月26日 配当支払開始予定日 -  
 有価証券報告書提出予定日 2021年11月30日  
 決算補足説明資料作成の有無: 有  
 決算説明会開催の有無: 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年8月期の業績 (2020年9月1日~2021年8月31日)

#### (1) 経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年8月期	4,737	36.4	△193	-	△207	-	△283	-
2020年8月期	3,473	21.8	36	△17.3	46	0.9	31	41.0

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2021年8月期	△13.09	-	△36.1	△9.7	△4.1
2020年8月期	1.49	-	5.0	2.8	1.1

(参考) 持分法投資損益 2021年8月期 12百万円 2020年8月期 △1百万円

(注) 2020年8月期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。また、2021年8月期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、1株当たり当期純損失であり、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年8月期	2,513	925	36.9	42.53
2020年8月期	1,751	644	36.8	30.68

(参考) 自己資本 2021年8月期 925百万円 2020年8月期 644百万円

#### (3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年8月期	△198	△308	979	1,086
2020年8月期	233	△145	9	614

## 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向	純資産 配当率
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2020年8月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2021年8月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2022年8月期(予想)	—	—	—	—	—		—	

(注) 当社は、株主への利益還元を経営の重要課題と認識しておりますが、配当政策については企業体質の強化と将来の事業展開のための内部留保を図るとともに、業績に応じた配当を継続的に行うことを基本方針としております。2021年8月期の期末配当金につきましては、当期純損失を計上したことに加え、内部留保充当が必要であるものと判断し、無配とさせていただきます。また、2022年8月期の配当につきましても、現時点において未定であります。

## 3. 2022年8月期の業績予想(2021年9月1日~2022年8月31日)

現時点では業績に影響を与える未確定な要素が多いため、業績予想を算出することが困難な状況です。業績予想につきまして、合理的に予測可能となった時点で公表いたします。詳細は、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況(4) 今後の見通し」をご覧ください。

### ※ 注記事項

#### (1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

#### (2) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年8月期	21,778,300株	2020年8月期	21,014,500株
② 期末自己株式数	2021年8月期	270株	2020年8月期	270株
③ 期中平均株式数	2021年8月期	21,670,905株	2020年8月期	21,637,779株

(注) 2021年8月16日付で譲渡制限付株式報酬として新株式8,100株を発行しております。

### ※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

### ※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況(4) 今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 今後の見通し .....	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	4
3. 財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 貸借対照表 .....	5
(2) 損益計算書 .....	7
(3) 株主資本等変動計算書 .....	8
(4) キャッシュ・フロー計算書 .....	9
(5) 財務諸表に関する注記事項 .....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	10
(持分法損益等) .....	10
(セグメント情報等) .....	10
(1株当たり情報) .....	12
(重要な後発事象) .....	12

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

全国の農業総産出額は、コメ、野菜等の需要に応じた生産の進展等から増加傾向で推移していましたが、野菜等において生産量の増加に伴い価格が低下したことから、2019年は前年に比べ1,620億円減少したものの、8兆8,938億円と引き続き高い水準を維持しております（出典：農林水産省「生産農業所得統計」）。他方で、2020年2月時点の農業経営体のうち、個人経営体は103万7千経営体で、2015年に比べ30万3千経営体減少した一方、団体経営体は3万8千経営体で1千経営体増加しております（出典：農林水産省「農林業センサス」）。農業経営体の減少が続く中、法人化や規模拡大の進展が継続し、農業集約化の動きも加速するものと予想されます。当事業年度は、期初において高値圏にあった青果価格が、全国的な好天により供給過多となった影響で最安値水準まで低下する値動きの大きい相場状況であったものの、新型コロナウイルス感染症の長期化による度重なる緊急事態宣言に伴う巣ごもり消費や内食需要の定着を背景に青果需要は堅調に推移いたしました。

このような環境のもと、特に大型生産者との取引拡大を図り、より多くの生活者に「おいしい」をお届けするために、これまで当社が進めてきた農家の直売所事業に加え、スーパー等の通常の青果売場で販売する産直卸事業を推進いたしました。また、2020年9月には富山中央青果株式会社と連携協力に関する協定書を締結し、新しい農産物流通の創造に向けた取組を開始いたしました。さらに、2020年11月には東日本旅客鉄道株式会社、株式会社福岡ソノリク及び株式会社農林漁業成長産業化支援機構を割当先として約5.6億円の第三者割当増資を行い、同時に東日本旅客鉄道株式会社及び株式会社福岡ソノリクと業務提携契約も締結し、2021年7月には、国分グループ本社株式会社との業務提携契約を締結するなど、既存の農産物流通プラットフォームの高度化のため、他社とのアライアンスも積極的に展開いたしました。その後、東日本旅客鉄道株式会社とは、農産物の集荷拠点である集荷場「JRE 農業ステーション江見駅」をJR内房線江見駅の敷地内に開設し、株式会社福岡ソノリクとは、物流センター機能の拡張と、西日本エリアの農産物輸送網の効率化を目的に、福岡ソノリク関西物流センター内に「神戸センター」を開設いたしました。一方、流通総額のさらなる拡大に備えたシステム開発や産直卸事業の推進のための人材投資の実施により、販売費及び一般管理費が前年同期比で増加いたしました。そして、開発内容の不具合などの事情から、現在開発中のシステムのうち営業支援システムの開発を中止し、既存の販売管理システムへ統合することを決議いたしました。これに伴い、当該営業支援システムの開発に係る固定資産について、減損損失136百万円を特別損失に計上いたしました。

このような取組みの結果、当社の重要な経営指標である流通総額は当事業年度において12,315,600千円（前事業年度比13.4%増）、2021年8月末日時点でスーパーマーケット等の国内小売店への導入店舗数は1,774店舗（前事業年度末より155店舗増）、農産物の集荷拠点である集荷場は94拠点（前事業年度末より2拠点増）、登録生産者9,762名（前事業年度末より489名増）まで拡大いたしました。当事業年度の経営成績は、売上高は4,737,903千円（前事業年度比36.4%増）、営業損失は193,727千円（前事業年度は営業利益36,872千円）、経常損失は207,527千円（前事業年度は経常利益46,491千円）、当期純損失は283,185千円（前事業年度は当期純利益31,289千円）となりました。

また、当社の事業は、単一のセグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

### (2) 当期の財政状態の概況

#### (資産)

当事業年度末における流動資産は、前事業年度末に比べ596,347千円増加し、2,006,929千円となりました。これは主に、現金及び預金の増加471,733千円、売掛金の増加78,105千円等によるものであります。

当事業年度末における固定資産は、前事業年度末に比べ165,826千円増加し、506,507千円となりました。これは主に、有形固定資産の増加69,807千円、無形固定資産の増加34,513千円、投資その他の資産の増加61,505千円等によるものであります。

#### (負債)

当事業年度末における流動負債は、前事業年度末に比べ199,566千円増加し、1,209,749千円となりました。これは主に、買掛金の増加82,098千円、短期借入金の増加132,538千円、未払法人税等の減少28,608千円等によるものであります。

当事業年度末における固定負債は、前事業年度末に比べ281,453千円増加し、377,737千円となりました。これは主に、長期借入金の増加277,516千円等によるものであります。

#### (純資産)

当事業年度末における純資産は、前事業年度末に比べ 281,154 千円増加し、925,949 千円となりました。これは主に、資本金の増加 282,169 千円、資本準備金の増加 282,169 千円、当期純損失計上により利益剰余金が 283,185 千円減少したことによるものであります。

### (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当事業年度末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という）は、前事業年度末に比べ 471,733 千円増加し、1,086,235 千円となりました。

当事業年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの主な要因は次のとおりであります。

#### （営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果使用した資金は 198,900 千円となりました。これは主に、税引前当期純損失 344,115 千円、減損損失 136,588 千円、株式交付費 18,729 千円、売上債権の増加 78,124 千円、仕入債務の増加 82,098 千円、未払金の増加 19,254 千円及び法人税等の支払額 34,881 千円によるものであります。

#### （投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は 308,572 千円となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出 126,747 千円、無形固定資産の取得による支出 216,415 千円、補助金の受取額 49,500 千円によるものであります。

#### （財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果得られた資金は 979,206 千円となりました。これは主に、短期借入金の純増減額 132,538 千円、長期借入れによる収入 350,000 千円、長期借入金の返済による支出 43,884 千円、株式の発行による収入 541,243 千円によるものであります。

#### （参考）キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2021 年 8 月期
自己資本比率 (%)	<u>36.9</u>
時価ベースの自己資本比率 (%)	<u>461.0</u>
キャッシュ・フロー対有利子負債比率 (年)	<u>△3.1</u>
インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍)	<u>△90.9</u>

（注）1. 各指標はいずれも財務数値を用いて、以下の計算式より算出しております。

自己資本比率：自己資本/総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額/総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債/キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー/利払い

2. 株式時価総額は、期末株価終値×期末発行済株式総数により算出しております。

3. 有利子負債は、貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としております。

4. キャッシュ・フロー及び利払いは、キャッシュ・フロー計算書に計上されている営業活動によるキャッシュ・フロー、支払利息を使用しております。

### (4) 今後の見通し

当社の主たる事業である農家の直売所事業及び産直卸事業は、食の安心・安全への生活者の意識の高まりもあり、次期も引き続き堅調に成長が続くと見込んでおります。今期に増加した導入店舗や登録生産者が通年で寄与することに加え、当社が構築したスーパー等との物流網を活用した販売形態を更に強化し、流通総額の拡大を図ってまいります。

一方で、次期の外部環境につきましては、新型コロナウイルス感染症に対するワクチン接種率の向上等により、徐々に経済活動が再開されることが想定されておりますが、今後の広がり方や終息時期等を予測することが困難な状況にあることから、消費者動向も不透明な状況にあります。

以上により、2022 年 8 月期の業績見通しにつきましては、流通総額 13,000,000 千円～13,600,000 千円（前年同期比 5.6%～10.4%増）を見込んでおります。流通総額以外の業績予想については、今後開示が可能となった段階で速やかに開示いたします。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は、国内の企業間の比較可能性を確保するため、会計基準につきましては日本基準を適用しております。

### 3. 財務諸表及び主な注記

#### (1) 貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年8月31日)	当事業年度 (2021年8月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	614,501	1,086,235
売掛金	772,820	850,926
商品	11,728	12,777
貯蔵品	81	71
前払費用	15,689	19,305
その他	396	42,710
貸倒引当金	△4,636	△5,098
流動資産合計	1,410,581	2,006,929
固定資産		
有形固定資産		
建物附属設備	27,785	32,481
減価償却累計額	△5,670	△7,837
建物附属設備（純額）	22,114	24,644
構築物	22,535	35,877
減価償却累計額	△4,361	△6,897
構築物（純額）	18,174	28,979
車両運搬具	3,605	2,022
減価償却累計額	△3,605	△2,022
車両運搬具（純額）	0	0
工具、器具及び備品	4,422	14,202
減価償却累計額	△2,828	△5,404
工具、器具及び備品（純額）	1,593	8,798
機械及び装置	-	49,840
減価償却累計額	-	△2,375
機械及び装置（純額）	-	47,464
その他	3,169	5,639
減価償却累計額	△1,373	△2,040
その他（純額）	1,796	3,598
有形固定資産合計	43,677	113,484
無形固定資産		
ソフトウェア	143,852	178,365
無形固定資産合計	143,852	178,365
投資その他の資産		
関係会社株式	85,004	88,404
投資有価証券	6,820	6,820
繰延税金資産	38,076	83,409
その他	23,250	36,023
投資その他の資産合計	153,150	214,656
固定資産合計	340,680	506,507
資産合計	1,751,262	2,513,436

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年8月31日)	当事業年度 (2021年8月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	652,534	734,632
短期借入金	54,800	187,338
1年内返済予定の長期借入金	41,384	69,984
未払金	161,732	158,021
未払費用	6,517	6,024
未払法人税等	28,608	—
前受金	1,627	1,248
預り金	10,787	11,396
賞与引当金	37,763	40,161
その他	14,427	943
流動負債合計	1,010,182	1,209,749
固定負債		
長期借入金	86,712	364,228
資産除去債務	8,193	12,922
その他	1,379	587
固定負債合計	96,284	377,737
負債合計	1,106,467	1,587,486
純資産の部		
株主資本		
資本金	214,448	496,618
資本剰余金		
資本準備金	199,448	481,618
資本剰余金合計	199,448	481,618
利益剰余金		
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	231,141	<u>△52,043</u>
利益剰余金合計	231,141	<u>△52,043</u>
自己株式	△242	△242
株主資本合計	644,795	<u>925,949</u>
純資産合計	644,795	<u>925,949</u>
負債純資産合計	1,751,262	<u>2,513,436</u>

## (2) 損益計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2019年9月1日 至 2020年8月31日)	当事業年度 (自 2020年9月1日 至 2021年8月31日)
売上高	3,473,364	4,737,903
売上原価		
商品期首たな卸高	4,801	11,728
当期商品仕入高	1,350,683	2,453,842
合計	1,355,485	2,465,570
商品期末たな卸高	11,728	12,777
売上原価	1,343,757	2,452,793
売上総利益	2,129,606	2,285,110
販売費及び一般管理費	2,092,734	2,478,838
営業利益又は営業損失(△)	36,872	△193,727
営業外収益		
受取利息	23	39
受取賃貸料	2,757	1,710
助成金収入	7,538	150
受取補償金	-	1,431
その他	2,019	4,403
営業外収益合計	12,338	7,734
営業外費用		
支払利息	1,239	2,187
賃貸費用	1,480	615
株式交付費	-	18,729
営業外費用合計	2,720	21,533
経常利益又は経常損失(△)	46,491	△207,527
特別利益		
補助金収入	-	49,500
特別利益合計	-	49,500
特別損失		
固定資産圧縮損	-	49,500
減損損失	-	136,588
特別損失合計	-	186,088
税引前当期純利益又は税引前当期純損失(△)	46,491	△344,115
法人税、住民税及び事業税	34,663	5,303
法人税等還付税額	-	△20,900
法人税等調整額	△19,461	△45,332
法人税等合計	15,202	△60,930
当期純利益又は当期純損失(△)	31,289	△283,185

## (3) 株主資本等変動計算書

前事業年度 (自 2019年9月1日 至 2020年8月31日)

(単位:千円)

	株主資本							純資産合計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金		自己株式	株主資本合計	
		資本準備金	資本剰余金 合計	その他利益 剰余金 繰越利益剰 余金	利益剰余金 合計			
当期首残高	212,296	197,296	197,296	199,852	199,852	△242	609,202	609,202
当期変動額								
新株の発行	2,151	2,151	2,151				4,303	4,303
当期純利益又は 当期純損失 (△)				31,289	31,289		31,289	31,289
当期変動額合計	2,151	2,151	2,151	31,289	31,289	—	35,592	35,592
当期末残高	214,448	199,448	199,448	231,141	231,141	△242	644,795	644,795

当事業年度 (自 2020年9月1日 至 2021年8月31日)

(単位:千円)

	株主資本							純資産合計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金		自己株式	株主資本合計	
		資本準備金	資本剰余金 合計	その他利益 剰余金 繰越利益剰 余金	利益剰余金 合計			
当期首残高	214,448	199,448	199,448	231,141	231,141	△242	644,795	644,795
当期変動額								
新株の発行	282,169	282,169	282,169				564,339	564,339
当期純利益又は 当期純損失 (△)				△283,185	△283,185		△283,185	△283,185
当期変動額合計	282,169	282,169	282,169	△283,185	△283,185	—	281,154	281,154
当期末残高	496,618	481,618	481,618	△52,043	△52,043	△242	925,949	925,949

## (4) キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2019年9月1日 至 2020年8月31日)	当事業年度 (自 2020年9月1日 至 2021年8月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前当期純利益又は税引前当期純損失 (△)	46,491	△344,115
減価償却費	32,338	34,209
減損損失	-	136,588
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	772	461
賞与引当金の増減額 (△は減少)	17,042	2,397
受取利息	△23	△39
支払利息	1,239	2,187
受取補償金	-	△1,431
株式交付費	-	18,729
補助金収入	-	△49,500
固定資産圧縮損	-	49,500
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△6,949	△1,039
売上債権の増減額 (△は増加)	55,249	△78,124
仕入債務の増減額 (△は減少)	131,457	82,098
未払金の増減額 (△は減少)	△10,904	19,254
その他	△2,844	△32,913
小計	263,870	△161,736
利息及び配当金の受取額	18	40
利息の支払額	△1,239	△2,323
法人税等の支払額	△29,324	△34,881
営業活動によるキャッシュ・フロー	233,324	△198,900
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△12,837	△126,747
無形固定資産の取得による支出	△78,266	△216,415
関係会社株式の取得による支出	△50,004	△3,400
補助金の受取額	-	49,500
その他	△4,156	△11,511
投資活動によるキャッシュ・フロー	△145,263	△308,572
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額	54,800	132,538
長期借入れによる収入	-	350,000
長期借入金の返済による支出	△44,534	△43,884
株式の発行による収入	-	541,243
その他	△651	△691
財務活動によるキャッシュ・フロー	9,614	979,206
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	97,675	471,733
現金及び現金同等物の期首残高	516,826	614,501
現金及び現金同等物の期末残高	614,501	1,086,235

(5) 財務諸表に関する注記事項  
 (継続企業の前提に関する注記)  
 該当事項はありません。

(持分法損益等)

	前事業年度 (自 2019年9月1日 至 2020年8月31日)	当事業年度 (自 2020年9月1日 至 2021年8月31日)
関連会社に対する投資の金額	85,004 千円	88,404 千円
持分法を適用した場合の投資の金額	70,599	83,690
持分法を適用した場合の投資利益又は 持分法を適用した場合の投資損失 (△) の金額	△1,580	12,024

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社は、農家の直売所事業への単一セグメントであるため、記載を省略しております。

【関連情報】

前事業年度 (自 2019年9月1日 至 2020年8月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

単一の製品・サービスの区分の外部顧客への売上高が損益計算書の売上高の 90%を超えるため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の以外の外部顧客への売上高がないため、該当事項はありません。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

3. 主要な顧客ごとの情報

(単位：千円)

顧客の氏名又は名称	売上高	関連するセグメント名
イオンリテール株式会社	430,169	農家の直売所事業

当事業年度 (自 2020年9月1日 至 2021年8月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

単一の製品・サービスの区分の外部顧客への売上高が損益計算書の売上高の 90%を超えるため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の以外の外部顧客への売上高がないため、該当事項はありません。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

3. 主要な顧客ごとの情報

(単位：千円)

顧客の氏名又は名称	売上高	関連するセグメント名
イオンリテール株式会社	517,640	農家の直売所事業
株式会社ライフコーポレーション	483,926	農家の直売所事業

**【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】**

当社は、農家の直売所事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

**【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】**

当社は、農家の直売所事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

**【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】**

該当事項はありません。

## (1株当たり情報)

	前事業年度 (自 2019年9月1日 至 2020年8月31日)	当事業年度 (自 2020年9月1日 至 2021年8月31日)
1株当たり純資産額	30.68円	42.53円
1株当たり当期純利益又は 1株当たり当期純損失(△)	1.49円	<u>△13.09円</u>
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	-	-

(注) 1. 2020年8月期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在していないため記載しておりません。また、2021年8月期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、1株当たり当期純損失であり、潜在株式が存在していないため記載しておりません。

2. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前事業年度 (2020年8月31日)	当事業年度 (2021年8月31日)
純資産の部の合計額(千円)	644,795	<u>925,949</u>
純資産の部の合計額から控除する金額(千円)	-	-
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	644,795	<u>925,949</u>
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数(株)	21,014,230	21,778,030

3. 1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失(△)の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前事業年度 (自 2019年9月1日 至 2020年8月31日)	当事業年度 (自 2020年9月1日 至 2021年8月31日)
1株当たり当期純利益又は 1株当たり当期純損失(△)		
当期純利益又は当期純損失(△)(千円)	31,289	<u>△283,185</u>
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る当期純利益又は 普通株式に係る当期純損失(△)(千円)	31,289	<u>△283,185</u>
普通株式の期中平均株式数(株)	21,007,118	21,637,779

## (重要な後発事象)

該当事項はありません。